

2021 年度 障がい者スポーツ特別研修会開催要項  
**障がいのある人とない人が共に作る共生社会**  
 ～『障がい者運動』『文化・芸術』『スポーツ』の観点から～

1 趣 旨

2017 年に発表された「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」では、『**障害のある人もない人も、支え手側と受け手側に分かれることなく共に支え合う**』ことが、共生社会の実現に重要であると記載されています。実際に 2020 年東京オリンピック・パラリンピック大会は、**スポーツを通じた共生社会づくり**への関心を高め、各地で多くのパラスポーツの体験イベントが行われるきっかけとなりました。岩手県においても久慈地域卓球バレー協会（令和 2 年度文部科学大臣賞受賞）など障がいの有無に関わらず、多様な個人・団体が協力して共に取り組む事例が生まれました。そして、このようにスポーツに限らず、遊び、余暇、レクリエーションや文化活動など様々な参加の機会を地域（市町村単位）の中で継続していくためには、**障がいの有無を問わず多様な方々が互いに協力し、活動していくことが重要である**と考えます。

そこで本研修会では、この視点から『障がい者運動』『文化・芸術』『スポーツ』の分野において先駆的な取り組みを行っている方々を講師にお招きし、地域の中により多くの参加の機会を作るために何が必要かについて考えていきます。

2 主 催 一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会

3 共 催 一般社団法人コ・イノベーション研究所、岩手県障がい者スポーツ指導者協議会

4 後 援 公益財団法人日本パラスポーツ協会、公益財団法人岩手県体育協会、岩手県教育委員会  
 岩手県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、岩手県スポーツ推進委員協議会  
 岩手県特別支援学校連絡協議会、NPO 法人岩手県レクリエーション協会  
 一般社団法人岩手県理学療法士会、一般社団法人岩手県作業療法士会（以上、予定団体）

5 実施概要

(1) 日時：令和 4 年 1 月 30 日（日）10:00～15:40（受付 9:30～）

(2) 会場：ふれあいランド岩手・ふれあいホール（1 階）

〒020-0831 盛岡市三本柳 8-1-3 / TEL 019-637-1000（総合案内）

(3) 日程表

9:30	10:00	10:10	10:40	11:10	12:00	13:00	13:50	14:00	15:30	15:40
受付	開 会 行 事	話 題 提 供 ①	話 題 提 供 ②	基 調 講 演 ①	休 憩	基 調 講 演 ②	休 憩	パ ネ ル デ ィ ス カ ッ シ ョ ン	閉 会 行 事	

(4) 定 員 会場 50 名程度/オンライン（アプリは ZOOM 使用）100 名程度（受講料無料）

※オンライン受講につきましては定員にて申込を締め切らせていただきます。また、県内の受講希望者を優先させていただく場合がありますがご了承願います。

6 申込方法 別紙申込書により、郵送・FAX・Eメール等によりお申込みください。

※申込締切 令和 4 年 1 月 26 日(水)

7 申込・問合せ先

（一社）岩手県障がい者スポーツ協会（担当：三浦、小坂、小山内）

〒020-0831 盛岡市三本柳 8-1-3 ふれあいランド岩手内

TEL 019-637-5055 / FAX 019-637-7626 / E-mail: t-miura@iwate-adaptive.or.jp

## 8 内容

### (1) 話題提供① (10:10~10:40)

①テーマ「障がい者スポーツ普及における課題・実例紹介」

②講師：一般社団法人コ・イノベーション研究所 代表理事 はしもと だいすけ 橋本 大佑 氏



筑波大学卒業後、ドイツに渡り、車いすスポーツを通じた障がい児・者への導入指導方法について学ぶ。2009年に帰国後、国内において障がい者スポーツの導入における指導の開発・普及に取り組む。ドイツで師事したホルスト・ストローケンデル先生の理念を実践するために法人設立。障がい者スポーツだけではなく、様々な社会課題を分析し、その解決方法を研究・開発。現在は、企業研修等でも講演依頼が多い。本日は、このパネルディスカッションのファシリテーターを務める。

### (2) 話題提供② (10:40~11:10)

①テーマ「障がい当事者団体が運営するスポーツを活用した自助グループについて」

②講師：ふくだ あきら 福田 彰 氏 戸山土曜会 代表 (補助 橋本 大佑)

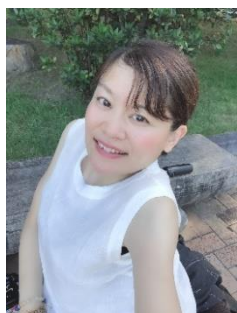


脳内出血による右半身麻痺・言語障害。元は電気工事業の経営を行っていたが、平成15年に脳内出血で現在の障害を受傷。リハビリ後、同じ脳血管障害者の社会復帰支援を行うことを目的に、「戸山土曜会」を設立。現在は、約100名が登録する。東京都理学療法士協会との共同で、スポーツを活用した支援事業を行い、昨年度は登録者から3名が就労復帰している。東京都北区内スポーツ施設等バリアフリー化検討委員。障がい者スポーツ指導員(中級)。

### (3) 基調講演① (11:10~12:00)

①テーマ「文化・芸術分野における障がい者リーダー育成/東京2020パラリンピック大会開会式」

②講師：もりた 森田 かずよ 氏



先天性の障害(二分脊椎症・先天性奇形・側湾症)を持って生まれる。18歳より表現の世界へ入り、ある時は義足を身につけ、ある時は車椅子に乗りながら、舞台上に立つ。障がいのある身体で、自分らしく何が表現できるのか、何を伝えることができるのか。自分の身体と向き合い、表現の可能性を日々楽しく考えながら、義足の俳優&ダンサーとして活動している。大学卒業後、奈良県の劇団を経て現在フリーで活動。ヨコハマ・パラトリエンナーレ、SLOW MOVEMENT、庭劇団ペニノなど多数の公演やイベントに出演。東京2020パラリンピック開会式に出演。

### (4) 基調講演② (13:00~13:50)

①テーマ「障がい者の自立運動とスポーツ・文化活動」

②講師：なかにし ゆきこ 中西 由起子氏 アジア・ディスアビリティ・インスティテュート代表  
DPI 日本会議副議長/一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク 理事



DPI(障害者インターナショナル)アジア太平洋事務所や ESCAP(国連アジア太平洋経済社会委員会)での仕事を通してアジアの障害問題と関わってきた。現在は、アジア・ディスアビリティ・インスティテュート(ADI)や DPI 日本会議での活動をとおして、障がい者のエンパワメントに関する国内での啓発活動の他に、アジアでの地域に根ざした活動、特に自立生活運動の推進に力を入れるとともに、アフリカにも活動を広げている。

### (5) パネルディスカッション (14:00~15:30)

①テーマ「障がい当事者のリーダー育成の意義と効果、その方法について」

②パネリスト：中西 由起子 氏、森田 かずよ 氏、福田 彰 氏

③ファシリテーター：一般社団法人コ・イノベーション研究所 代表理事 橋本 大佑 氏